

1 一 / 般 / 質 / 問

- 一般質問とは、議員が町長など執行機関に対し、町の行財政全般について疑問点をただし、報告や説明を求めることです。
- 「問」については、議員が提出した要約文のとおり掲載しており、編集は行っていません。



児玉 求 議員

学校で児童が使用する洗口液は薬剤師が調整したもので、希釈された低濃度のものです。それを学校に配布し、養護教諭が小分けして各教室で実施するという手順で、週1回行います。

問 むし歯予防対策として、町内3小学校で9月からフッ化物洗口が実施されます。フッ化ナトリウムは劇物に指定、毒性が強く神経系を冒し、水溶液はアルカリ性を示し、ガラスを溶かします。洗口（洗口液0.2〜0.1%）での急性中毒、過敏症状の危険性があり安全性が担保されていません。

答 安河内教育長
本町の中学1年生のむし歯は、現在治療中のむし歯を含め平均2本以下で、歯科検診等により年々減っています。作業手順は担当教師だけで対応できるのか。むし歯予防の基本はまず歯みがきです。二、三小でも歯科衛生士等による指導を実施する体制作りが重要です。子どもの安全性が最優先です。どうお考えですか。

答 中嶋町長
1歳半健診におけるフッ素塗布（任意）により、むし歯は減少しています。これは全国的に実施されており、安全性に問題はないといえます。フッ化物洗口の実施にあたっては、教職員や保護者に対して歯科医師会から説明をしています。任意（希望制）の事業ですが、94・7%の保

問 子どもの安全性が担保されないフッ化物洗口は中止すべきです

答 児童が1回に使用する洗口液の量は、10ml程度で、誤って飲んでも問題のない量であり、安全であるとの報告を受けています。
歯科医師会からフッ化物洗口は、むし歯の多い児童、少ない児童いずれに対しても効果的で、小学校時代の実施が、成人になってもむし歯予防効果を持続をもたらすとの説明があつています。



紙コップを使用して各教室で実施（第一小学校）

護者から利用したいとの申し込みがありました。

教育

子どもへの安全性が担保されないフッ化物洗口は中止すべきです

安全であり、94・7%の保護者が希望

工事が行われます

9月議会で議決された工事の概要を紹介します。

アザレア幼稚園跡地 駐車場整備工事 4850万円

旧アザレア幼稚園わくわくルーム（元の西幼稚園）の建物の一部を解体して、97台収容できる駐車場を整備します。
（平成29年3月末完了予定）



進む工事

尾黒ため池改修工事 1700万円

護岸ブロック等から浸食が進み、堤体が陥没しているため、改修を行います。農業用ため池の基本的な機能を維持し、ため池決壊等の災害を未然に防止するため、県の補助を受けて実施するものです。
（平成29年3月末完了予定）



漏水がみられるため池

舗装・水路改修工事

- 平原3号線…………… 900万円
- 新原～佐谷裏線…1200万円
- サル田水路……………1300万円

傷んだ舗装や老朽化した水路の改修を行う工事です。
（平成29年3月末完了予定）



傷みが目立つ道路（平原3号線）